

平成24年6月14日
 消 防 庁

「消防防災科学技術研究推進制度」における 平成24年度公募課題の審査結果

消防庁では消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究資金制度）により、研究助成を行っています。平成24年度の新規研究課題については、33件の応募がありましたが、外部有識者による評価会の結果12件を採択しました。

◆制度概要と目的

「消防防災科学技術研究推進制度」は、公募の形式により消防機関が直面する課題の解決に向けて、高い意義が認められる提案者に対して研究を委託し、国民が安心・安全に暮らせる社会を実現するものです。（平成15年度に創設）

◆応募状況及び審査結果

平成24年度の新規研究課題については、33件の応募があり12件を採択しました。内訳は次のとおりです。

- ① テーマ設定型研究開発 消防庁があらかじめテーマを設定したもの 7件
 ※テーマ【東日本大震災を踏まえた地震等災害対策を主眼とする研究開発】
- ② テーマ自由型研究開発 ①以外のもの 5件
 （採択課題名及び提案機関等は別紙1参照）

また、平成22年度及び平成23年度からの継続課題については、7件の継続を承認しました。（承認課題名及び提案機関等は、別紙2参照）

なお、審査は「消防防災科学技術研究推進制度評価会」において、特に消防防災が直面する課題の解決や社会的な波及効果に重点を置き採択しました。

◆参考

	採択件数 / 応募件数	代表研究機関の属性
平成24年度	12件 / 33件 (①7②5) (①15②18)	大学7件、民間機関5件
平成23年度	6件 / 45件 (①4②2) (①17②28)	大学3件、民間機関3件

※ ①②は、上記研究テーマ分類の番号を示す。



（事務連絡先）

消防庁総務課消防技術政策室

担 当：熊谷、坂本

電 話：03-5253-7541

FAX：03-5253-7533

平成24年度新規研究課題

平成24年度採択の新規研究課題

研究課題名	研究内容	研究機関名 (受託先)	代表者 氏名	連携消防本部
◎救急患者の緊急度評価基準の確立と救急活動の質の評価	医療機関搬送後のデータとアンケート調査に基づき、医療機関搬送後の緊急度の類型と各類型の定義(基準)を設定すること及び実際の各救急活動の段階における緊急度評価を、設定した類型の定義と比較することによって、活動の質を検証することで新たな緊急度類型の基準を策定する。	横浜市立大学	森村 尚登	・東京消防庁 ・横浜市消防局
◎大規模災害、聴覚・言語機能障がいに対応した緊急通報技術の開発	パケット通信を用いた新たな緊急通報・災害通信手段を構築する。また、通報側のインターフェースなどの標準化を行うことで、聴覚・言語機能障がいに対応した緊急通報技術を構築する。	一般社団法人 情報通信技術委員会	加納 貞彦	所沢市消防本部
◎精神科患者の救急搬送に関する研究	精神科救急受け入れ課題の解決策として、精神疾患のある傷病者に関する救急搬送の受け入れ等の実態把握・消防法改正における実施基準運用状況の把握、精神科救急搬送の問題点の分析と政策提言、解決に向けての実証研究を行なう。	北九州市立八幡病院 救命救急センター	伊藤 重彦	北九州市消防局
◎心肺機能停止患者の気道確保および輸液の効果に関する検討	心肺停止患者の救命蘇生統計(ウツタイン)のデータを用い、気管挿管および静脈路確保に伴う輸液の患者予後に関する指標に及ぼす影響を評価研究する。	九州大学	萩原 明人	福岡市消防局
◎病院前救護におけるICTを用いた安全性確保と費用削減に関する実地検証	ビデオ喉頭鏡に備えられた映像出力端子を使用して、高画質映像伝送システムにより、気管挿管時の咽頭喉頭の映像をメデイカルコントロール指示医師に伝送し、その効果等を検証することにより、気管挿管という高度な救命処置をより安全に行えることを実証研究する。	広島大学	谷川 攻一	広島市消防局
◎聴覚・言語機能障害者のための緊急ユニバーサル・コミュニケーション・システム	聴覚障害者や言語機能障害者の方々が、アンドロイド端末上に搭載した、簡単なGUIのアイコンをクリックすることにより、緊急時に救急隊等とコミュニケーションを実現するための双方向システムを研究開発する。	沖コンサルティングソリューションズ株式会社	西島 勝	春日・大野城・那珂川 消防本部
◎大震時火災リスクシミュレータの提供と地域消防におけるルール形成の支援研究	地域消防を対象に火災シミュレータの改良・提供を行ない、住民による消防力の強化、消防署の戦略的出動案の作成(公助)を図るとともに、延焼包囲リスクの事前検討を通して、自らの命を守る地域消防のルール作りと自助・共助・公助に向けての役割行動の訓練支援を行う。	愛媛大学	二神 透	松山市消防局

※◎テーマ設定型

※○テーマ自由型

総務省消防庁

■テーマ

聴覚・言語機能障がいに対応した緊急通報技術の開発

■研究内容

パケット通信を用いた新たな緊急通報・災害通信の標準化を行い、聴覚・言語機能障がい者に対応した緊急通報技術を構築する。

■期間

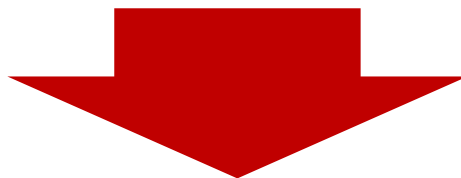
2012年4月～2013年3月（毎月1回開催）

■参加者

座長：加納貞彦先生(早稲田大学名誉教授)、総務省消防庁、学識経験者、各指令台メーカー、携帯電話会社 その他

■モデル消防本部

所沢市消防本部（現・埼玉西部消防局）



2013年3月 埼玉西部消防局に「緊急 Web 通報システム・ガチャピー」が導入されました。